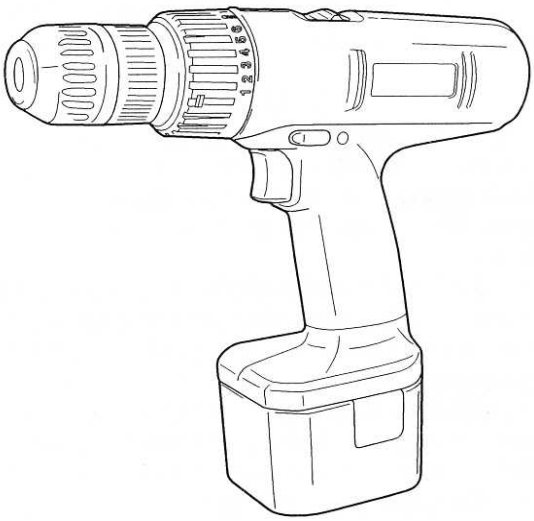
RYOBI®

充電式振動ドライバドリル

BPD-1200 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



—もくじ

・安全上のご注意・・・・・・・・・1～5
・各部の名称・・・・・・・・・・・・・5
・仕様、用途、付属品・・・・・・・・・6
・別販売品・・・・・・・・・・・・・・7
・使用能力目安表・・・・・・・・・・・8
・操作方法・・・・・・・・・・・・8～10
・充電について・・・・・・・・・11～13
・保守と点検・・・・・・・・・・・・・14

Ni-Cd

使用済みニカド電池は、取外してリサイクルへ

6984300

このたびは、リョービ充電式振動ドライバドリルをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本体の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

■安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を「⚠警告」、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を「⚠注意」、として記載しています。なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
  「⚠警告」・「⚠注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警　告

1．専用の充電器や電池パックを使用してください。
　・他の充電器で電池パックを充電しないでください。
　・11ページ表４に示された以外の電池パック、充電器の組合せによる以外の充電はしないでください。破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。
2．正しく充電してください。
　・この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し火災の恐れがあります。
　・温度が0℃未満、あるいは温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
　・電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
　・使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
3．電池パックの端子間を短絡させないでください。
　・釘袋等に入れると、短絡することで発煙、発火、破裂等の恐れがあります。
4．感電に注意してください。
　・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
5．作業場の周囲状況も考慮してください。
　・充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
　・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
　・可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
6．保護めがねを使用してください。
　・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

7．加工するものをしっかりと固定してください。
・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。固定が不十分な場合は加工するものが飛んでけがの恐れがあります。
8．次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
・使用しない、または修理する場合。
・刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
・その他危険が予想される場合。
本体が作動してけがの恐れがあります。
9．不意な始動は避けてください。
・スイッチに指を掛けて運ばないでください。本体が作動してけがの恐れがあります。
10．指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因となる恐れがあります。
11．電池パックを火中に投入しないでください。
・破裂したり有害物質の出る恐れがあります。

⚠注　意

1．作業場は、いつもきれいに保ってください。
・ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。
2．子供を近づけないでください。
・作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの恐れがあります。
・作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの恐れがあります。
3．使用しない場合は、きちんと保管してください。
・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
・充電工具や電池パックを、温度が５０℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。電池パック劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
4．無理に使用しないでください。
・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上でのご使用は事故の恐れがあります。
・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
5．作業にあった充電工具を使用してください。
・小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。
・指定された用途以外に使用しないでください。けがの恐れがあります。
6．きちんとした服装で作業してください。
・だぶだぶの服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。回転部に巻込まれる恐れがあります。
・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物はけがの恐れがあります。
・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。回転部に巻込まれる恐れがあります。

7. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
   ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
   ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
   ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
   感電やショートして発火する恐れがあります。
8. 無理な姿勢で作業をしないでください。
   ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してけがの恐れがあります。
9. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
   ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用するとけがの恐れがあります。
   ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの恐れがあります。
   ・充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
   ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
   ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。けがの恐れがあります。
10. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
   ・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。つけたままでは作動時に飛び出してけがの恐れがあります。
11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
   ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
12. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
   ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
   ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
   ・疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。
13. 損傷した部品がないか点検してください。
   ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
   ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
   ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。
   ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
   ・スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は、使用しないでください。異常動作してけがをする恐れがあります。

14. 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。
・サービスマン以外の人は本体、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。発火したり、異常動作してけがをする恐れがあります。
・本体が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検修理に出してください。
・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
・修理は、必ずお買い上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

充電式振動ドライバドリルご使用に際して

先に充電式工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式振動ドライバドリルをご使用の際には、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

⚠警　告

1. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
・埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
2. 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持してください。
・確実に保持していないと、けがの原因となります。
3. 使用中は、回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。
・けがの恐れがあります。

⚠注　意

1. ビット・キリや付属品は取扱説明書に従って確実に取付けてください。
・確実でないとはずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は軍手など巻込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・回転部に巻込まれ、けがの恐れがあります。
3. 穴あけ直後のキリや切りくずは高温になっているので触れないでください。
・やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。
・材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 細径ドリルは折れやすいので注意してください。
・飛散して、けがの恐れがあります。

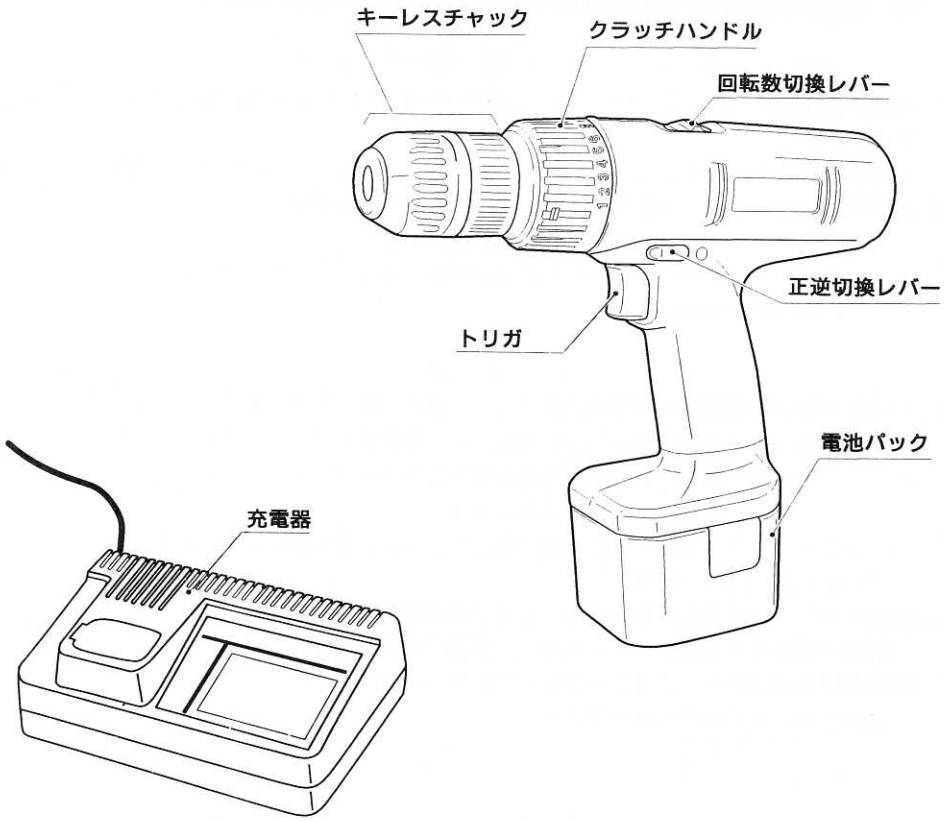
Ni-Cd

ニカド電池の回収にご協力ください。

左のマークはリサイクルができるニカド電池を使用していることをあらわしています。リョービグループでは、希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのニカド電池の回収を行なっています。
不要になったニカド電池（電池パック）は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお持ちくださるようお願いいたします。

⚠注意	・不要になったニカド電池（電池パック）をそのまま放置されますと、端子部分のショートにより発熱することがありますので、端子部分にビニールテープなどを巻いて短絡防止をしてください。

■各部の名称



■仕様

●本体

- 無負荷回転数
  （低速）・・・・・・・・・・・・・・0～580回／分
  （高速）・・・・・・・・・・・・・・0～2,050回／分
- 振動数
  （低速）・・・・・・・・・・・・・・0～8,700回／分
  （高速）・・・・・・・・・・・・・・0～30,750回／分
- 穴あけ能力
  （鉄工）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10mm
  （木工）・・・・・・・・・・・・・・・24mm（低速）
  （モルタル）・・・・・・・・・・・・・・・・・10mm
- 木ネジ締め能力・・・・・・・・・6.1mm × 55mm
- 最大トルク・・・・・・・・・・・・・・・140kg-cm
- モーター電圧・・・・・・・・・・・・・・DC 12 V
- キーレスチャック・・・・・・・・・・0.8～10mm
- 重量（電池パック含む）・・・・・・・・・・・・1.9kg

●使用電池パック（B-1220F）

- ニカド電池（Ｎｉ－Ｃｄ）
- DC12V,2000mAh

●充電器（UBC-200）

- 電源・・・・・・・・・・・・AC100V・50／60Hz
- 定格出力電圧・・・・・・・・・・・・DC7.2～12V
- 消費電力・・・・・・・・・・・・・・・・・340VA
- 標準充電時間・・・・・・・・・・・・・・・・13分
- 重量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1.0kg

（注）• 電池パックは輸送中の事故を防ぐため、充電しない状態で出荷しています。最初は必ず規定時間充電された後にご使用ください。
• 充電時間は電池容量、活性化の度合い、充電状態などにより、標準充電時間より長くなることがあります。

■用途

- 各種木材、金属、モルタル、ブロック、樹脂板などの穴あけ。
- 各種小ネジ、木ネジ、ナットなどの締付け、ゆるめ。

■付属品

- (＋)ドライバビット（No.2 × 65）
- 充電器（UBC-200）
- 電池パック（B-1220F）
- キャリングケース
- 電池パックカバー

■別販売品

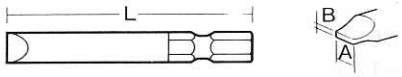
● ストラップ組立

● ⊕ドライバビット

名　称	L(mm)
No.1	45
	50※
	65
	110
No.2	45
	50※
	65
	110
	250
No.3	45
	50※
	65
	110
★No.2	90

※は片頭　★は着磁付

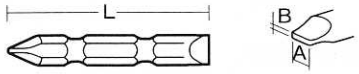
● ⊖ドライバビット



A(mm)	B(mm)	L(mm)
6.0	0.8	45
		70
6.35		50
	1.0	50
★6.35	0.8	45
8.0	1.2	45
	1.2	70

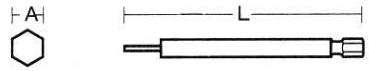
★は着磁付

● ⊕⊖ビット



名　称	A(mm)	B(mm)	L(mm)
(+)No.2／(−)6.35×1.0×50	6.35	1.0	50
(+)No.2／(−)6.35×1.0×65	6.35	1.0	65

● ヘグザゴンドライバビット

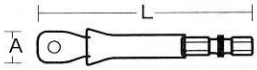


ネジ径	A(mm)	L(mm)
M4	3.0	100
M5	4.0	
M6	5.0	
M8	6.0	

● ソケットビット

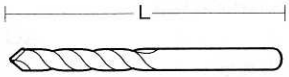
ネジ径	A(mm)	L(mm)
M3	6.0	55
M4	7.0	
M5	8.0	
	9.0	
M6	10	
M8	13	
	14	

● ソケットアダプタ



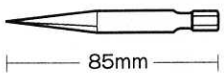
名　称	A(mm)	L(mm)
3分	9.5	55
4分	12.7	70

● コンクリートビット



キリ径(mm)	L(mm)	キリ径(mm)	L(mm)
3.2	85	5.5	100
3.5		6.0	
4.0		6.4	
4.3		6.5	
4.5		7.0	125
4.8		7.5	
5.0		8.0	
		8.5	

● 四ツ目キリ



■１回のフル充電による使用能力表（周囲温度２０℃）

表　1

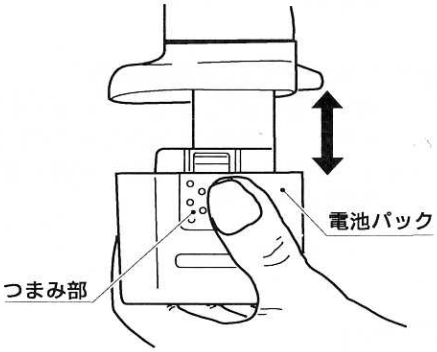
	用途	ドリル径	材料	穴あけ数／ネジ締数
穴あけ	木工	15mm	ラワン材 板厚　25mm	200
	鉄工	4.5mm	軟鋼板 板厚　3.0mm	75
	モルタル （深さ 40mm）	6mm	モルタル	30
ネジ締め	木ネジ	5.1×38mm	ラワン材	200

（注）鉄工、モルタルへの穴あけは、高速回転、木工、木ネジ締めは低速回転を使用しています。
表１の数値は、電池の劣化や、周囲の状況によって変わります。

■操作方法

●電池パックの取付け、取外し

- 電池パックの取付けは、電池パックを、矢印方向にまっすぐさし込みます。
- 取外しは、電池パック両側のつまみ部を押さえて矢印方向にまっすぐ抜いてください。



●スイッチと正逆回転

⚠警告	• 不意な始動は避けてください。 • スイッチに指をかけて運ばないでください。本体が作動してけがの恐れがあります。

- スイッチは、トリガを引くと入り、離すと切れます。
- 正逆回転の切換は正逆切換レバーを正転（R）、または逆転（L）方向に押します。中央ではＯＦＦとなり、スイッチは入りません。
- 保管、輸送、ビット、キリの交換時には、正逆切換レバーを中央（ＯＦＦ）位置にセットしてください。
- スイッチの引き具合により、回転数、振動数は表２の範囲で調整できます。

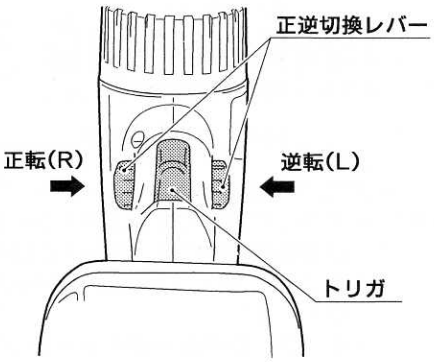
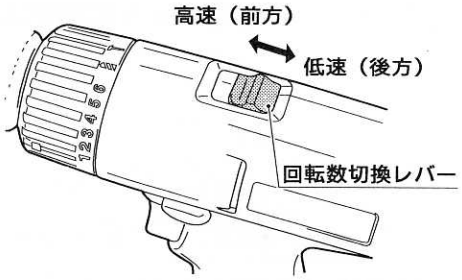


表　2

レバー位置	無負荷回転数（回／分）	振動数（回／分）
低速（1）	0～580	0～8,700
高速（2）	0～2,050	0～30,750

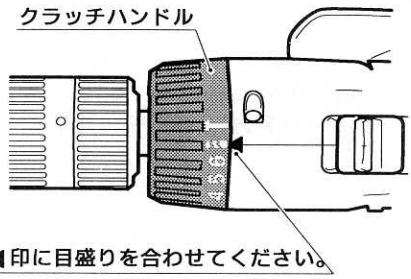
●回転数の切換方法



- 用途に応じて回転数を高速、低速の２段階に切り換えることができます。（表２）
- 回転数を変える場合は、本体上部の回転数切換レバーをスライドさせます。
  前方（２）にスライドさせれば高速、後方（１）にスライドさせれば低速回転になります。
- 回転数切換レバーは、モーターの回転が完全に止まった状態で操作してください。また、回転数切換レバーが入りにくい場合はチャックを手で軽く回しながら回転数切換レバーを操作してください。

●クラッチハンドルの切換方法

- 用途に合わせて、クラッチハンドルを回転させて、本機の機能を合わせてください。
- クラッチハンドルの選定位置は、表３を参考にしてください。



選定目安

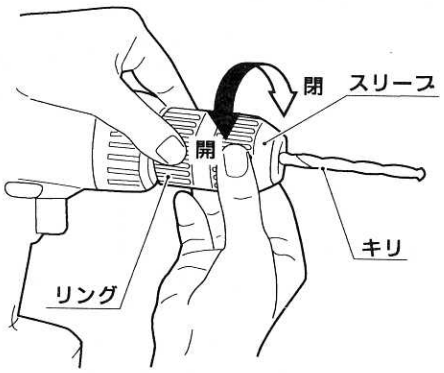
表　3

目盛	トルク	作業の目安
1	約10kg-cm	・小ネジの締付け(M3程度)
2～3	約18kg-cm～26kg-cm	・やわらかい材料へのネジ締め
4～6	約34kg-cm～50kg-cm	・かたい材料へのネジ締め
ドリル	高速　約60kg-cm	・小径の穴あけ
	低速　約140kg-cm	・大径の穴あけ ・強力なネジ締め
振動		・モルタル、ブロックなどへの穴あけ

（注）
- 用途に合わせたクラッチハンドル位置を表に示しています。この内容は、締付けネジの種類、締付け、穴あけの対象材料などにより異なりますので、一応の目安と考えてください。ご使用になる前には、不要材などで実際にお試しになった上でご使用ください。
- モーターの回転が停止するような使用は負荷のかけ過ぎです。モーター及び、電池パックの寿命を著しく短くする原因となりますので、モーターの回転を停止させないようにご使用ください。

●ビット、キリの交換

⚠警告	• ビット、キリなどの付属品を交換する場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。本体が作動してけがの恐れがあります。
⚠注意	• ビット・キリや付属品は取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実でないと外れたりし、けがの原因になります。 • 穴あけ直後のキリや切りくずは高温になっているので触れないでください。やけどの原因になります。



- キーレスチャックのスリーブを左方向（反時計回り）に回してチャックを広げます。
- ビット、またはキリをキーレスチャックに挿入後リングをしっかり握りスリーブを右方向（時計回り）に強く締付けます。
- 取外しは、取付けの逆の要領で行なってください。

（注）
- 取付後、少しモーターを回しビット、キリにブレがないか確認してください。ブレている場合には、ビット、キリをもう１度付直してください。
- 振動ドリルとしての使用や、過度の使用により、キーレスチャックの温度が高くなり、キーレスチャックがゆるみ難くなることがあります。この場合には、キーレスチャックの温度を下げてからゆるめてください。

（電池寿命について）

- 電池パックには寿命があり、ふつう１日１～２回充電して約１年半（１０００回位）ですが、使用条件により異なります。正しく充電しても穴あけ個数や、締付け本数が著しく少なくなった場合には電池寿命がきたものとお考えいただき、新しい電池パックをお買求めください。
- 電池パックを長期間使用しないでいますと、蓄電池が自己放電し一時的に容量が低下することがあります。この時は、充・放電を３～４回くり返すことにより容量が回復します。（ご使用にならない場合でも半年に１回の充電をお勧めします。）

■充電について

⚠ 警告	1．専用の充電器や電池パックを使用してください。 • 他の充電器で電池パックを充電しないでください。 • 11 ページ表４に示された以外の電池パック、充電器の組合せによる以外の充電はしないでください。破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。 2．正しく充電してください。 • この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し火災の恐れがあります。 • 温度が 0℃未満、あるいは温度が 40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。 • 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。 • 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
⚠ 注意	1．充電器のコードを乱暴に扱わないでください。 • コードを持って充電器を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。 • コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。 • コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。 感電やショートして発火する恐れがあります。 2．• 屋外使用に合った延長コードを使用してください。 • 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

●充電時間

• 本機に付属の充電器（ＵＢＣ－200）ならびに従来の充電器と電池パックの組合わせによる標準の充電時間は表４です。

表 4

電池パック			充電器				
電圧	容量	モデル	UBC-200	UBC-100	UBC-1201	UBC-120Q	UBC-174Q
12V	1,300mAh	B-1202	8分	45分	60分	15分	不可
		B-1203F	8分	45分	60分	15分	不可
	1,700mAh	B-1207	11分	不可	不可	不可	15分
		B-1207F	11分	60分	80分	*20分	不可
	2,000mAh	B-1220F	13分	70分	90分	*25分	不可

＊Ｂ-1207Ｆ、Ｂ-1220Ｆの電池パックをＵＢＣ-120Ｑの充電器を使って満充電にする場合、残りの電池容量により充電完了の表示が出ても満充電していないことがあります。この場合一度電池パックを充電器から外した後、再度充電してください。（ＵＢＣ-120Ｑは時間制御のため１５分で充電完了の表示がされます。）

（注）• ご使用直後の電池パックは温度が高くすぐには充電できません。

• 表は標準充電時間です。充電時間は電池容量のバラツキや、活性化の度合い、充電状態等により標準充電時間より長くなることがあります。

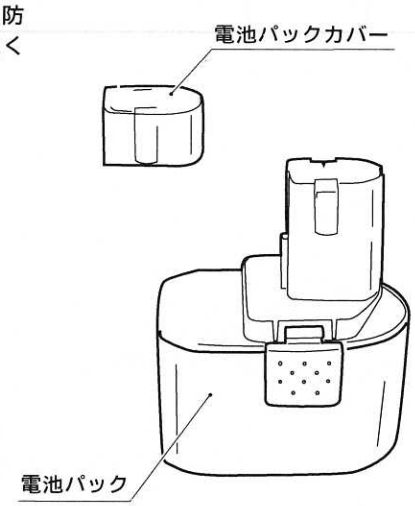
●充電方法

- 充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。

1. 充電器のさし込みプラグをＡＣ 100 Ｖ電源にさし込みます。
2. 電池パックを充電器のさし込み口にしっかりとさし込みます。
3. 充電が完了しましたら電池パックを充電器から抜いてください。
4. 充電器のさし込みプラグを電源から抜いてください。

(注)
- お買求めの時や、長時間（２カ月以上）ご使用にならなかった電池パックは、自己放電により一時的に容量が低下している場合があります。このときは、充・放電を３～４回繰り返すことにより、容量が回復します。
- 充電中、テレビラジオ等に雑音が入ることがあります。この場合充電器をテレビ・ラジオ等から50cm 以上離すか、別のコンセントを使用してください。
- 充電途中で電池パックを抜取った場合、３秒以上の間隔をおいて電池パックをさし込んでください。充電器内部のコンピュータが、電池パックの抜取りの確認に３秒の時間が必要です。間隔が短すぎる場合充電を開始しないことがあります。
- ＵＢＣ－200では、緊急時の作業に対応するため、２～３分間（容量により）の充電をすることにより、満充電時の約 25%の作業量が得られます。
  ＵＢＣ－200の充電状態はランプの点滅で示しています。（表５）

- 電池パックを単品で保管するときは短絡を防ぐために付属の電池パックカバーをつけてください。



部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

＊改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元
リョービ販売株式会社

製造元
リョービ株式会社